

[成果情報名]宮城県におけるワタの鉢物栽培に適した作型

[要約]宮城県でワタの高性および矮性品種を鉢物として栽培する場合、高性品種は5月中旬の定植または直播、矮性品種は5月中旬～6月中旬の定植が適する。出荷適期は開じょ始期で、5月中旬に定植すると高性品種が8月末以降、矮性品種は8月上旬以降である。

[キーワード]ワタ、鉢物、高性、矮性

[担当]宮城県農業・園芸総合研究所・園芸栽培部

[代表連絡先]電話 022-383-8132

[区分]東北農業・野菜花き（花き）

[分類]研究成果情報

[背景・ねらい]

ワタは、夏季に花、冬季にコットンボールが鑑賞可能で、家庭では秋以降室内に取り込んでクリスマスの装飾をするなど、多様な楽しみ方ができる新規鉢物品目として有望と思われる。ワタの高性および矮性品種を鉢物栽培する場合、宮城県の環境条件に適合する作型を明らかにする。

[成果の内容・特徴]

1. 鉢物ワタの出荷適期は開じょ始期以降で、1鉢のコットンボール数が多いほどボリュームがあって市場性が高い（仙台市中央卸売市場鉢物担当者からの聞き取り）。
2. 高性品種の定植時期は、定植から開じょまでの日数が短く、1鉢のコットンボール数が多い点から5月中旬が適する。矮性品種では、定植から開じょまでの日数は6月中旬の定植が短く、1鉢のコットンボール数は5月中旬が多い。従って、5月中旬～6月中旬の定植が適する（表1）。
3. 高性品種を5月中旬に直播すると、12日間育苗した苗を同時期に定植した場合と比べ、開じょまでの日数、開花始期および開じょ始期の生育は同程度であるため、育苗作業が省略でき、栽培期間も短縮できる（表1、2）。6月中旬に直播すると、播種後14日間育苗した苗を同時期に定植した場合と比べ、開じょまでの日数が長い（表1）。
4. 矮性品種も同様に、開じょまでの日数は、5月中旬に直播すると同時期に定植した場合と比べ同程度で、6月中旬に直播すると同時期に定植した場合と比べ長い（表1）。
5. 高性品種の開じょ始期は、5月中旬に定植または直播すると8月末～9月初めである。矮性品種の開じょ始期は、5月中旬に定植または直播すると8月上旬、6月中旬に定植すると9月上旬である（表1）。
6. 生育適温期間中（宮城県ではおおむね9月末～10月上旬まで）は主茎が伸長し続けるので、鉢とのバランスを考慮し摘心する（表3）。7号鉢の場合、主茎長60cm程度とし、支柱を使用する。

[成果の活用面・留意点]

1. 各品種の特徴（比較）：高性品種は葉やコットンボールが大きく、コットンボールが上向きである。矮性品種はコットンボール数が多く、下向きである（図1）。
2. 種子は市販のものが利用できる。自家採種する場合は、完全に開いたコットンボールの綿毛を取り除き、充実したものを採種する。直播では、特に複数株を1鉢に植える際には不発芽や発芽の不揃いを考慮し、多めに播種して本葉展開後に間引く。
3. 開じょ始期において発らい、開花は継続中であり、花も観賞できる。

[具体的データ]

表1 鉢物ワタにおける定植および直播時期別の開花始期、開じょ始期、コットンボール数

品種	年度	試験区	播種日 (月/日)	定植日 (月/日)	開花始期 ^z (月/日)	到花日数(日)		開じょ始期 ^z (月/日)	開じょまでの日数(日)		コットンボール数 ^y (個/鉢)
						播種後	定植後		播種後	定植後	
高性	2014	4月定植	3/25	4/10	7/4 ± 3.2	101	85	8/23 ± 0.8	151	135	10.4 ± 1.1
		5月定植	4/28	5/13	7/11 ± 2.0	75	60	8/31 ± 1.1	126	111	11.3 ± 1.7
		6月定植	6/2	6/16	8/9 ± 2.9	69	55	10/9 ± 3.2	129	115	7.7 ± 2.2
		6月直播	6/16	-	8/14 ± 1.5	60	-	10/24 ± 12.5	130	-	8.7 ± 1.5
2015	5月定植	5/1	5/13	7/11 ± 1.2	71	59	9/1 ± 1.9	124	112	6.4 ± 1.6	
	5月直播	5/13	-	7/15 ± 0.7	64	-	9/1 ± 3.1	112	-	5.4 ± 0.8	
矮性	2014	4月定植	3/25	4/10	6/17 ± 1.0	84	68	8/5 ± 0.8	134	118	14.7 ± 2.9
		5月定植	4/28	5/13	7/2 ± 1.7	65	50	8/10 ± 2.3	105	90	15.0 ± 2.8
		6月定植	6/2	6/16	7/29 ± 1.5	58	44	9/8 ± 0	98	84	12.9 ± 1.6
		6月直播	6/16	-	8/9 ± 1.2	54	-	9/26 ± 0	102	-	14.7 ± 0.6
2015	5月直播	5/13	-	7/10 ± 1.9	59	-	8/12 ± 1.9	91	-	9.0 ± 3.7	

z: 平均値±標準偏差 (2014年はn=7 (6月直播区はn=3), 2015年はn=10)。2015年は3株/鉢中、最も早く開花、開じょした株のもの。開じょ始期は、一番果の果皮に切れ目が入り、綿毛が見えた日とした。

y: 平均値±標準偏差 (nは上記と同数)。2014年は11月11日(試験終了時)に高性品種は直径3cm以上、矮性品種は直径2cm以上のもの、2015年は開じょ始期(出荷適期)に結実が確認できたものを計数した。

表2 鉢物ワタ(高性品種)における開花始期および開じょ始期の生育(2015年)

試験区	開花始期			開じょ始期	
	草丈(cm)	節数(節)	一番花節数(節)	草丈(cm)	節数(節)
5月定植	36.3 ± 3.8	8.6 ± 3.8	5.3 ± 0.7	46.7 ± 6.8	15.4 ± 2.1
5月直播	35.7 ± 3.5	8.0 ± 0.5	5.1 ± 0.3	48.6 ± 14.6	13.3 ± 3.5

※平均値±標準偏差 (n=10)。3株/鉢中、最も早く開花、開じょした株を調査した。

耕種概要

- ・宮城農園研ガラス温室(無加温)で栽培。高性品種はアップランド系品種、矮性品種は「新疆綿セミトール」を供試した。
- ・試験規模: 2014年は各7鉢(6月直播区は3鉢)、2015年は各10鉢、反復なし。
- ・2014年: 定植区は128穴セルトレイに播種、20℃温床で育苗し、本葉展開後、7号硬質黒ポリポットに1株/鉢定植。直播区は3粒/鉢直播し、本葉展開後、1株/鉢に間引き。主茎長65cmで摘心。
- ・2015年: 定植区は2014年と同様に育苗後、3株/鉢定植。直播区は6粒/鉢を直播し、3株/鉢に間引き。主茎長60cmで摘心。
- ・用土: 赤玉土: 腐葉土: パーミキュライト=6:3:1の混合培土を3.5L/鉢充填。
- ・基肥: CDUタマゴ化成(15:15:15)をN成分量で2014年は40mg/L、2015年は450mg/L施用。
- ・追肥: クミアイ液肥2号(10:4:8)500倍を2014年は7月初め~10月末、2015年は8月下旬~9月末の灌水時に3L/鉢施用。

表3 鉢物ワタの摘心日と摘心時節数(2014年)

品種	試験区	摘心日 (月/日)	摘心時節数 (節)
高性	5月定植	9/12 ± 2.4	19.4 ± 0.5
矮性	5月定植	8/26 ± 5.4	18.9 ± 1.9

※平均値±標準偏差 (n=7)。主茎長65cmで摘心。



図1 開じょ期の草姿(2015.9.4撮影)

(宮城県農業・園芸総合研究所)

[その他]

研究課題名: 宮城から提案する新規園芸品目の生産技術の開発

予算区分: 県単

研究期間: 2014~2015年度

研究担当者: 武井まゆ美、津田花愛、山口義昭